

令和7年度 第2回ゼロカーボン研究会 開催後レポート

1. 第2回ゼロカーボン研究会の目的

ゼロカーボン研究会では、2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、地域事業者の脱炭素に対する行動変容を促進することを目的としています。

第2回ゼロカーボン研究会では、グリーンワークショップ（カーボンニュートラルをテーマとした基礎的な講義やビジネスカードゲームおよび振り返りのディスカッション）を通じて、参加者の脱炭素に対する行動変容を促すための機運醸成を目指します。

2. グリーンワークショップについて

(1) 概要

講義型の研修とは違い、参加者が積極的に学習することが可能なカードゲームを活用したビジネスゲーム型のワークショップです。

カードゲームでは、参加者が1つの組織のメンバーとして1～4人のチームを組む、他のチームと様々な交渉を行いながら、組織の活動とプライベートの活動を行います。ある組織では獲得資金を増やすことを目指し、また、ある組織では排出量削減の目標に向かって環境活動を行っていきます。

ワークショップを通して、カーボンニュートラルの概念や意義・必要性、取組むうえでの心構えについて腹落ちして理解することができます。

(2) 目的

過去から現在にかけて私たちが行ってきた様々な活動が地球環境にどのような影響を与えているのかをマクロ的に俯瞰することにより、脱炭素に対する機運醸成および、カーボンニュートラルへの取組みに関する行動変容に繋げていくことを目的としています。

(3) ワークショップの流れ

① 導入・講義

自己紹介／研修の目的共有

講義「カーボンニュートラルとは」

② カードゲーム「2050カーボンニュートラル」の実施

ルール説明／ゲーム実施／結果発表

③ 振り返り

3. 参加者の構成

民間事業者・その他 17名、自治体 10名の計 27名

4. 当日の様子



開始直後から盛んに情報交換をする参加者が多く、意識の高さを感じました。

5. ゲーム結果

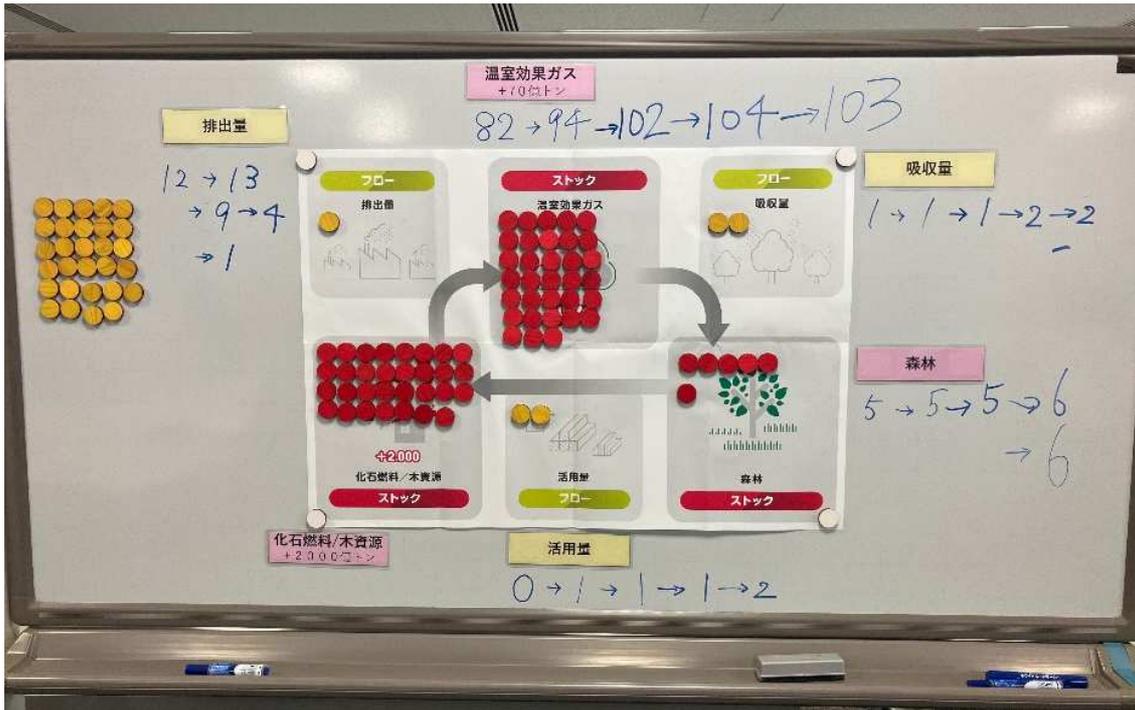
カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」では、4ターンで、組織ごとに獲得資金の増加や排出量削減に向かって活動していきます。

今回のワークショップでは、第1ターンで短期的に資金を獲得するアクションが実行されたことで、各組織の資金は増加しましたが、意図せず排出量が増えてしまいました。

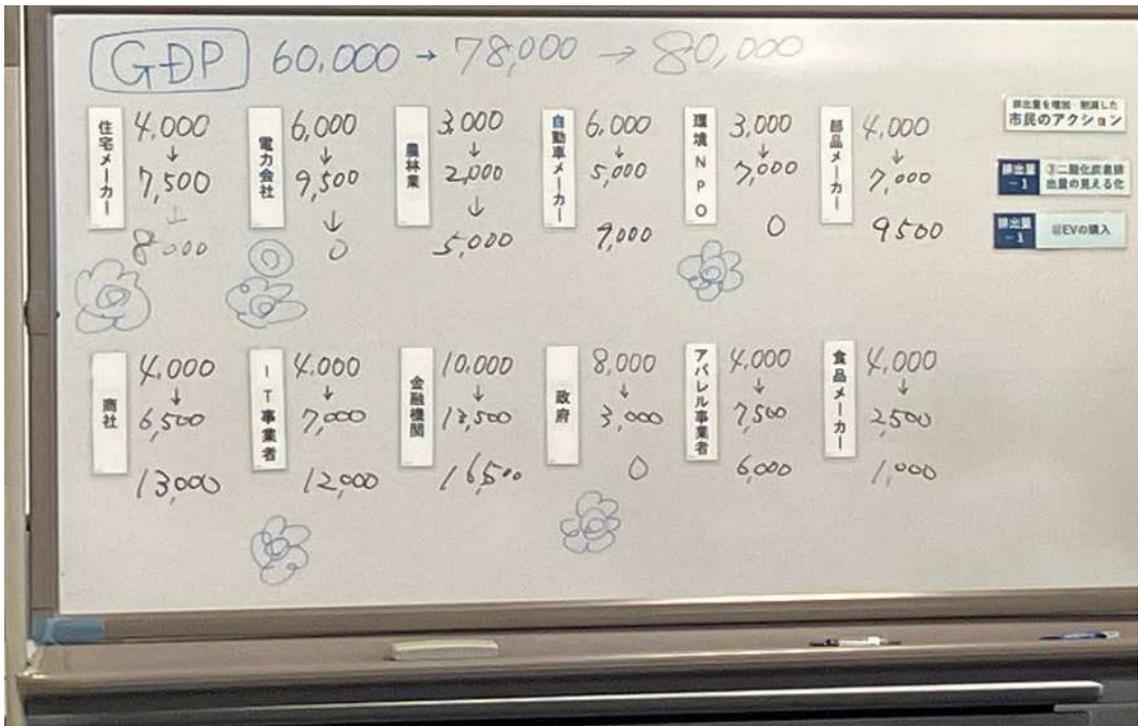
第2ターン以降では、他のグループとの交渉や情報交換が活発に行われるようになり、排出量が減少し、終了時にはカーボンネガティブを達成することができました。また、各組織の資金が増加したことにより、GDPを増加させることもできました。

ゲーム終了後の振り返りでは、問いと対話を通じて、「ゲーム中で起こった出来事」と「それを作り出した行動」を言語化しました。

カーボンニュートラルの実現に向けて「何をどう考えて行動していくか」について気づきを得て、排出量が一度増加すると大気中の温室効果ガスが増加し続けるため、早期に排出量を削減する必要性について理解を深める時間となりました。



ゲーム終了時には吸収量が排出量を上回るカーボンネガティブを達成



ゲーム終了時には市場のGDPが開始時の1.3倍に増加
活発な意見交換により脱炭素経営に取組みながら経済面の活性化の両立を達成

6. 脱炭素化に向けて自団体でどのような活動ができると考えるか（意見・感想）

- ・ 一人ひとりの取り組みが大きな CO₂排出削減になると思いますし、他社と連携させて頂きながら今後の脱炭素に取り組んでいきたいです。
- ・ 政府・金融機関などとも情報連携しての取組が不可欠
- ・ 集めた税収を適切に使用する（補助金など）。適応と緩和どちらも組織にとって大切だという事がわかりました。
- ・ カーボンニュートラルは早期の実現が急務。大気のカarbonが増える。
- ・ 単市での事業も必要だが、より大きな効果を得るためには、自治体、国の連携が必要に感じた。温室効果ガスの形態を視覚的に見ることができ有意義だった。
- ・ 太陽光パネルの普及促進と適正リサイクルに取り組む。ゲームを通じて多角的にカーボンニュートラルについて勉強できました。
- ・ 自組織・自社の強みを提供することで利用してもらうことが排出量削減にも自社の利益にもなると思ったため、関わりある自治体等をつなげる取組もしたいと思った。単に脱炭素を進めるだけでなく事業者としての考えも知ることができて勉強になった
- ・ 他組織との共創
- ・ 自身の排出量削減をあまり考慮していなかったが「温室効果ガスの蓄積量」が重要であったので同時進行で進めるべきだった。様々な分野・立場のことを考慮しながら立ち回ることの重要性を感じた。

以上